

平成18年度 旭市老人保健特別会計予算の概要

1. 予算規模

平成18年度当初予算額	4,471,000千円
平成17年度当初予算額（同年ベース）	4,577,698千円
比 較	△106,698千円（2.3%減）

老人保健特別会計事業は、支払基金交付金、国庫支出金、県支出金及び市の繰入金等で運用しているものであり、歳出中に占める医療諸費が99.0%を占めており、老人の医療費の増減によって影響を受けやすい面をもっている。

平成18年度の老人保健特別会計は、予算規模が対前年度106,698千円、2.3%の減である。

2. 歳 入

- (1) 支払基金交付金は、医療費交付金 2,365,110 千円と審査支払手数料交付金 19,888 千円で、対前年度 194,758 千円、7.5%の減を見込み計上した。
- (2) 国庫支出金は、医療費負担金 1,360,327 千円で、対前年度 103,713 千円、8.3%の増を見込み計上した。
- (3) 県支出金は、医療費負担金 340,082 千円で、対前年度 24,680 千円、7.8%の増を見込み計上した。
- (4) 繰入金は、一般会計から事務費繰入金として 14,928 千円、老人医療給付費として 340,081 千円で、対前年度 16,115 千円、4.8%の増を見込み計上した。
- (5) その他の収入は、繰越金に 30,000 千円、諸収入に 584 千円を計上した。

3. 歳 出

- (1) 総務費は、一般管理費として 14,928 千円で、対前年度 1,266 千円、7.8%の減を見込み計上した。
- (2) 医療諸費は、医療給付費に 4,330,000 千円、医療費支給費に 75,600 千円、審査支払手数料に 19,888 千円で、対前年度 57,637 千円、1.3%の減を見込み計上した。
- (3) その他の支出は、諸支出金に 3 千円、予備費に 30,581 千円を計上した。